

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回和泉創発プラン進行管理会議
開催日時	令和6年2月1日(木) 午前9時50分から午前10時30分まで
開催場所	和泉市役所 3A・3B会議室
出席者	<p>森吉副市長、吉田副市長、小川教育長 小泉参与、山本危機管理部長、並木市長公室長、前田総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、八木都市デザイン部長、土本教育次長兼教育・子ども部長、辻生涯学習部長、林田上下水道部長、岡田消防長、藤原行政委員会総合事務局長、藤原議会事務局次長(井阪議会事務局長代理)</p> <p>【事務局】 (政策企画室) 東政策企画室長、左海政策・資産マネジメント担当課長、田嶋総括主幹、伊賀主事 (財政課) 古川総務部次長、門林財政課長、山岡課長補佐 (人事課) 奥人事課長、富岡課長補佐</p>
欠席者	井阪議会事務局長
会議の議題	<p>(1) 和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)について (2) 市長公約事業の状況について (3) 和泉創発プランの計画期間延長について</p>
会議の要旨	<p>(1) 和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)について 「和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)(事務局案)」が承認され、令和6年第1回定例会総務企画委員会協議会に報告することとした。</p> <p>(2) 市長公約事業の状況について 市長公約事業の取組状況について報告を行った。</p> <p>(3) 和泉創発プランの計画期間延長について 和泉創発プランの計画期間延長に伴う修正イメージについて報告を行った。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
事務局	令和5年度第2回和泉創発プラン進行管理会議を開催する。和泉創発プラン進行管理要綱第2条第2項の規定により、進行は森吉副市長に願う。
森吉副市長	次第に従って、議事を進める。 次第2. 議事(1)「和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)について」事務局から説明願う。
政策企画室 人事課 財政課	資料番号1 「和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)」について、3ページ「1. 令和6年度の主な取組」、4ページから9ページまで「2. まちづくりの取組」、10ページ「3. 公共施設マネジメントの主な取組」については政策企画室が、11ページ「4. 頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組」については人事課が、12ページ「5. 財政健全化の取組」については財政課が説明する。 なお、13ページ以降については、資料編となるため参照願う。
藤原子育て健康部長	財政健全化の取組効果額について、創発プランと比べて予算案が約3億円多いが、要因を教えてください。
財政課	未利用地の売却の計画変更が主な要因である。令和6年度は、伯太第二改造住宅跡地、伯太幼稚園跡地、伯太防災広場北側用地、松尾出張所跡地の4か所売却を予定している。伯太第二改造住宅跡地については、創発プランでは令和5年度に売却を予定していたが、令和6年度に延びたものであり、約6,600万円の見込みである。残りの3か所については、創発プランでは見込んでいなかったものであり、新たな効果額として約3億300万円を見込んでいる。
土本教育・こども部長	富秋中学校区等まちづくり構想について、創発プラン改訂版における想定事業費と比較して、令和13年度までの事業費が約64億円増加している理由を教えてください。
政策企画室	事業費の増加の要因は、「物価高騰」や「市営住宅の整備時期の変更」に起因するものである。
土本教育・こども部長	この事業費の増額は、既に収支見通しに反映されているのか。

<p>財政課</p>	<p>収支見通しは、毎年度、決算期に作成するものであり、富秋中学校区等まちづくり構想における事業費の増額は、令和4年度決算見込みベースの収支見通しにおいて反映している。</p>
<p>立花市民生活部長</p>	<p>収支見通しを作成した後に新たに取組みが必要となり、予算措置が必要となるものがあると思うが、このような場合はどのような調整をしているのか。</p>
<p>財政課</p>	<p>創発プランに掲げる事業以外にも、新規事業は発生しているところであり、収支見通しに影響を与えるかどうかを確認すべく、毎年、夏前には、創発プランに位置付けている事業の他、新規事業の庁内照会を行い、収支見通しへの反映や事業実施時期などの調整をしている。</p> <p>また、協議会報告などから情報収集にも努めている。</p> <p>なお、収支見通しを作成した後に、取組みが必要となる事業も中にはあることは認識しており、その場合は、予算折衝の中で、事業の必要性を勘案し、予算措置を判断するものとなるが、一定の費用を要する事業に関しては、原則は、創発プランでの事前調整をお願いしたい。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>各部局においては、新たな事業に取り組む場合には、創発プランにおける位置づけも含めて事務局との調整を終えた上で進めるようお願いする。</p>
<p>藤原子育て健康部長</p>	<p>毎年夏前に実施している庁内照会において、回答の対象となる新規事業の基準を教えてほしい。</p>
<p>財政課</p>	<p>ソフト事業においては、経常的に費用を要する単年度の事業費が500万円以上又は総事業費が5,000万円以上としており、普通建設事業においては、単年度の事業費が5,000万円以上又は総事業費が5億円以上としている。</p>
<p>小泉参与</p>	<p>令和6年度当初予算には、創発プランに位置付けていない新規事業もあるが、創発プランへ位置付けるべき事業はあるのか。</p>
<p>政策企画室</p>	<p>創発プラン改訂の際には、経常的に費用を要する単年度の事業費が5,000万円以上となる事業又は総事業費が10億円以上となる普通建設事業を創発プランへ位置付ける基準の目安としている。</p>

<p>財政課</p>	<p>令和6年度当初予算において、経常的に費用を要する単年度の事業費が5,000万円以上となる事業又は総事業費が10億円以上となる普通建設事業はなく、創発プランへ位置付けるべき事業はなかった。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>他に修正等の意見もないため、この内容で第1回定例会総務企画委員会協議会に報告する。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>続いて、次第3. その他(1)「市長公約事業の状況について」事務局から説明願う。</p>
<p>政策企画室</p>	<p>資料番号2 公約総括表を用いて、市長公約事業の進捗について報告する。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>最後に、次第3. その他(2)「和泉創発プランの計画期間延長について」事務局から説明願う。</p>
<p>政策企画室</p>	<p>資料番号3 「和泉創発プランの計画延長に伴う修正イメージ」について説明する。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>和泉創発プランについては、各部において、大きな遅れもなく着実に取り組んでいるが、引き続きプラン達成に向けて、各部局長のマネジメントのもと、しっかりと取り組むよう願う。</p> <p>また、次期和泉創発プランと第6次総合計画とを連動させるため、和泉創発プランについては、計画期間を1年延長するということだが、残る2年の期間においてもしっかりと進行管理を行い、進めていただくよう願う。</p> <p>なお、先程、承認された「和泉創発プラン進行管理表(令和6年度予算案ベース)」については、第1回定例会総務企画委員会協議会への報告を予定しているので、事前の準備等を含め、事務局と連携して対応していただくよう願う。</p> <p>以上をもって、令和5年度第2回和泉創発プラン進行管理会議を終了する。</p>